

日 時 : 2012 年 10 月 24 日(水) 13:00 ~ 17:00

場 所 : 塗料報知新聞社 会議室

出席者 : 窪井要((有)久保井塗装工業所)、内山貴識(東和酵素(株))、高橋大(株三王)、
早川政男(第一塗装工業(株))、小泉栄(株)小泉塗装工業所)、小柳拓央(小柳塗工所)、
木下稔夫((地独)東京都立産業技術研究センター)
幹事: 平野克己(日本塗装機械工業会)、倉持保雄(日本工業塗装協同組合連合会)
オブザーバー: 藤井俊治(株)三菱化学テクニサーチ)、山崎秀雄(日本工業塗装協同組合連合会会長)
ゲスト: 榛葉幸宏(株)邦和工業)、事務局: 有馬弘純(塗料報知新聞社)

13 名 敬称略

***** 議 題 *****

1. 2012 年度における環境技術分科会の活動スケジュール、内容等の再確認

前回の打ち合わせ(8 月 22 日開催)内容を踏まえ、下記のテーマを抽出し、担当割を行った。

今後、下記、1.~4.について、各<ペア>が相談し合い(暫定的に< >が主担当)、整理した具体策(内容、スケジュール…)を次回分科会において発表する。

なお、全体調整・とりまとめ役を坂井秀也氏にお願いする(了承済み)。

※()内は 8/24 分科会における発言者

(1) 塗装の地位向上<高橋><小泉><小柳>

- 1-1 産業分類への登録…5年 1 回の分類(倉持)
 - 1-1-1 金属塗装→工業塗装
 - 1-1-2 組織率のアップ(内山)(山崎)
- 1-2 国が育成する産業との関わり(早川)
- 1-3 塗膜を形成する部門のメーカーである意識(木下)
- 1-4 後継者育成
 - 1-4-1 全般的な塗装技術(早川)(平野)
- 1-5 生活者からみえる
 - 1-5-1 地域における見学会(内山)
 - 1-5-2 マスコミ(高橋)
 - 1-5-3 コートマン(小柳)(木下)
- 1-6 塗装の中身・安全性をアピール(小泉)

(2) サポインの横展開<窪井><木下>

- 2-1 啓発活動の継続
 - 2-1-1 セミナー(九州・四国・岩手・北海道…)←大手販売店にも協力依頼
 - 2-1-2 小冊子、パンフレット(窪井)(木下)
 - 2-1-3 HP(ホームページ)
 - 2-1-4 メディアへの発信
 - 2-1-5 行政、大学、産総研からの協力連携、足を運んでもらう
- 2-1 革新
 - 2-1-1 特許、知的財産
 - 2-1-2 新技術
 - 2-1-3 自律型

(3) 根本的な環境対策・対応<早川><内山><藤井>

3-1 3K 対策

3-1-1 ゴミ、ブツ

3-1-2 塗料カス、ペレット(内山)(高橋)

3-1-2 排水

3-1-3 産廃

3-1-4 大気(VOC、CO₂、有害物質、悪臭)

3-2 VOC 削減=業界として目標設定の時代(平野)

3-2-1 有機溶剤の削減-塗料メーカーの参画、ユーザー業界の認識・協力(小泉)

3-2-2 塗装の仕方、技能(塗着効率)(木下)

3-2-3 ガン持参セミナー

(4) 塗装の生き残り策<平野><島田><杉山><福田>

4-1 ものづくりの中の塗装、自社のみしかできない塗装

4-1-1 コスト、インフラ、電力、水(早川)(小柳)

4-2 新技術(シーズ)のキャッチアップ(平野)

4-2-1 海外における情報

4-3 ユーザー業界の塗装での悩みを解決(木下)

4-3-1 ユーザー業界への構造上、素材上のアドバイス(塗装不要、コスト、納期)(小泉)(木下)(平野)

4-4 (塗料・塗装機器に合わせた)塗装サイドの折り合い(内山)

2. 次回分科会までの活動内容及びスケジュール

①11/1(金)⇒各、グループテーマについて気に留め、構想を練る。

↓

②11/15(木)⇒第3回セミナー開催。各グループメンバーで構想について確認・調整

↓

③11/26(月)⇒各グループは、取組優先順位、スケジュール、手段・・・など事務局へメールで連絡。事務局から坂井先生に転送し、予め目を通していただく。

↓

④12/10(月)⇒発表フォーマット(平野幹事作成、後日配信)に記述し、事務局へメール添付で送信。事務局から坂井先生に転送し、予め目を通していただく。

↓

⑤12/13(木)⇒各グループ発表及び坂井先生による調整・アドバイス、メンバー意見取り込み・・・

↓

⑥12/25(火)⇒フォーマットを修正した上でメンバーに配信、年内に”大綱”の完成と共有

3. 次回分科会開催予定

第44回環境技術分科会 2012年12月13日(木) 13時～17時 塗料報知新聞社 会議室

なお、同日10時～12時に第3回セミナー(11/15開催)反省会&次回対策を行う。

————— 以 上 —————